

南部・東部振興の主な取組

令和元年6月

奈良県

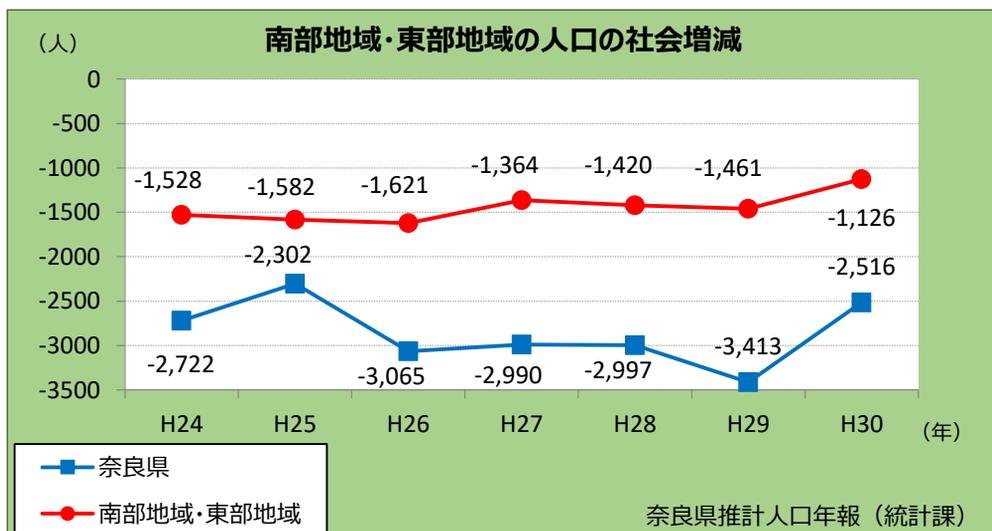
平成27年3月に策定した「奈良県南部振興基本計画」及び「奈良県東部振興基本計画」に基づく目標指標の進捗状況や令和元年度主要予算等についてとりまとめたものです。

頻繁に訪れてもらえる、住み続けられる 南部地域・東部地域の振興



目指す姿

目標：2020年度までに、**南部地域・東部地域の人口の社会増減**を**プラス**にします



南部東部地域の社会増減は、依然としてマイナスとなっていますが、平成30年は県外からの転入者が増加したため、全体の社会増減の数値を少し押し上げています。



県内転出が減少傾向にあり、県外からの転入者が増加傾向にあることが、社会減をやや縮小させています。



県外からの転入者は増加傾向ですが、県内の転入者が減少傾向にあることから、横ばいとなっています。

目標：2020年の観光入込客数を南部地域550万人、東部地域280万人にします



台風の影響による減少はあったものの、夏はキャンプなどで賑わいを見せ、春秋のシーズンには大幅な伸びを示しています。冬についても微増ながら、伸びを示しています。



夏はキャンプ、春秋の観光シーズンでは前年を上回っているものの、台風の影響による極端な減少と、冬の落ち込みにより、年間を通しては横ばいとなっています。

目標：2020年の宿泊客数を南部地域55万人、東部地域15万人にします



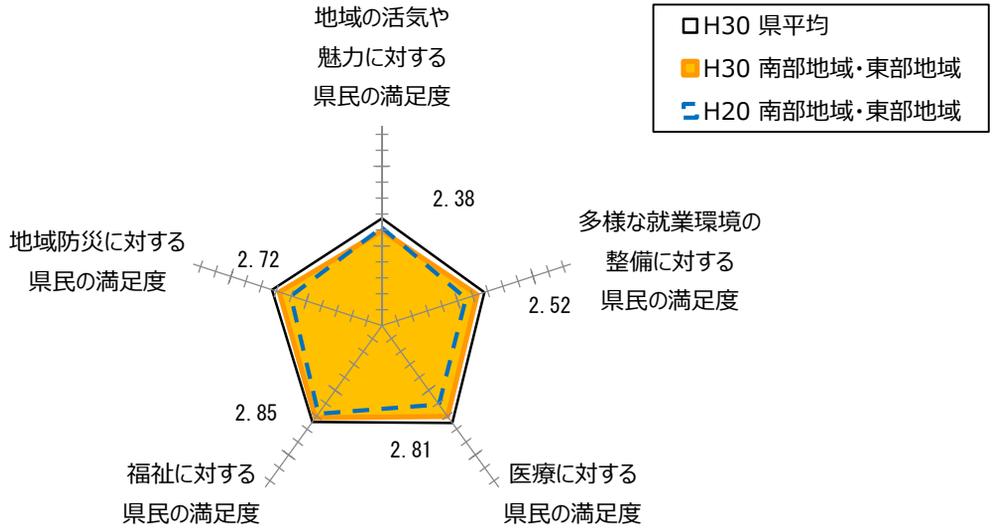
比較的気候に恵まれた夏場までは、宿泊客も堅調でしたが、9月・10月の相次ぐ台風の上陸や天候不順の影響により、年間を通しては微増となっています。



アウトドア志向の宿泊客に人気が高い地域ですが、9月・10月の相次ぐ台風の上陸や天候不順の影響を大きく受け、年間を通して減となっています。

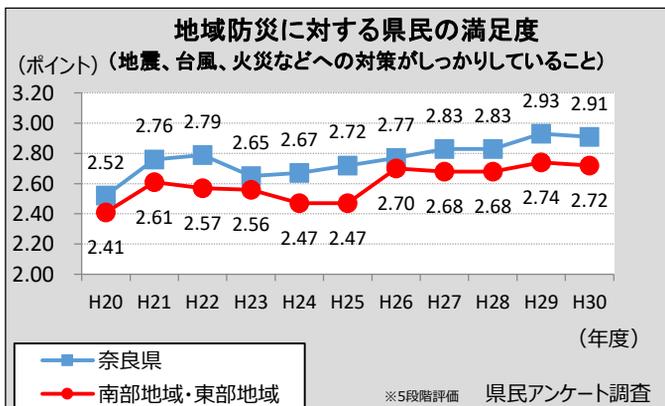
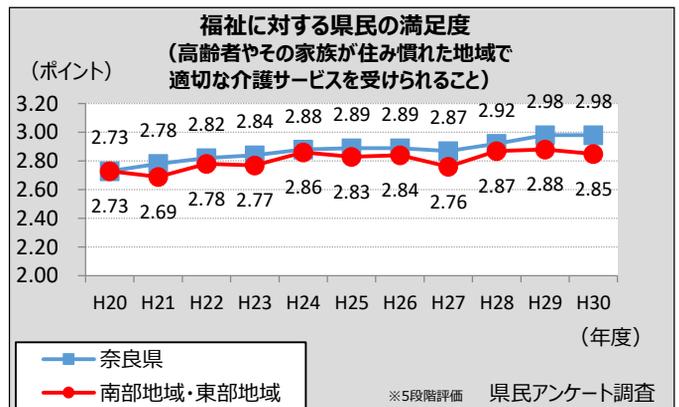
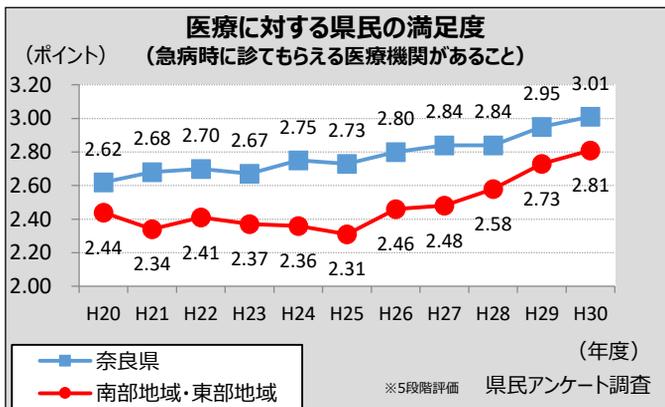
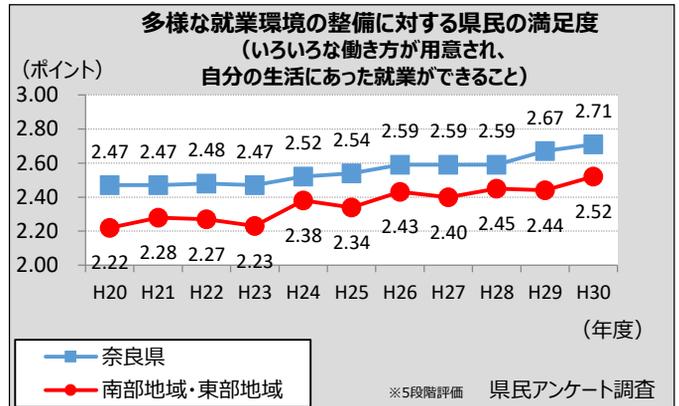
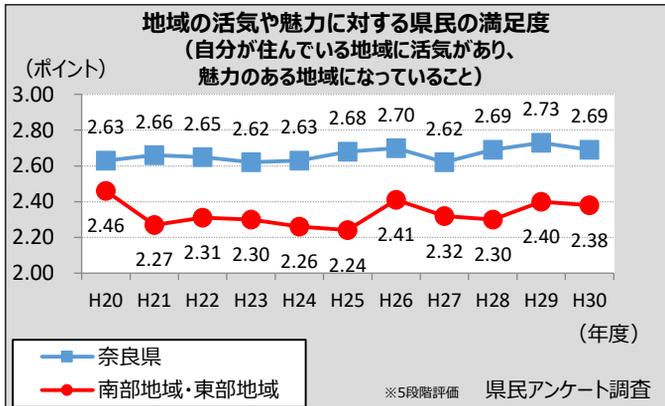
目指す姿を達成するための取り組み状況

《現状》



※ 5段階評価

《トレンド》



- ・災害に強いインフラづくりの推進により、南部東部地域の地域防災に対する満足度が上がっています。
- ・雇用の掘り起こしとマッチング支援や、女性・高齢者の就業支援等により、南部東部地域の多様な就業環境の整備に対する満足度が上がっています。
- ・地域医療提供体制の整備が進みつつあること等により、南部東部地域の医療に対する満足度が上がっています。
- ・福祉に対する満足度は平均して高く、県平均とほぼ同じ満足度となっています。

(南部・東部振興関係)

令和元年度当初予算（平成30年度2月補正予算含む）

25,881百万円

【平成30年度当初予算（平成29年度2月補正予算含む） 32,401百万円】

※R1予算については骨格予算で当初予算のみ計上

(南部・東部振興のための取組の戦略)

戦略1. 訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

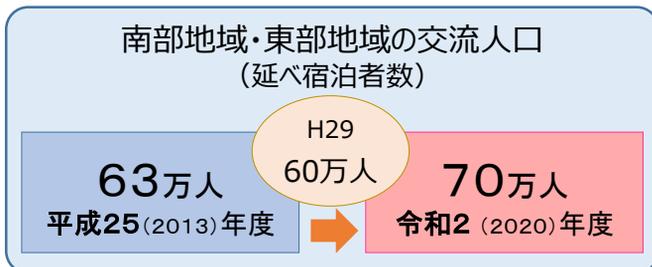
(1) 魅力を発見する、創る (P7)	285百万円
<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある食と宿泊施設等の整備推進 (56) ・地域資源を活用した魅力づくり (156) ・美しい景観づくり (17) ・多様なスポーツ施設の整備 (56) 	
(2) 知ってもらおう (P9)	520百万円
<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の強化 (520) 	
(3) 訪れてもらおう、体験してもらおう (P11)	10,010百万円
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベントの開催 (32) ・地域資源を活用したイベントの開催 (101) ・おもてなし力の向上 (218) ・音楽・芸術イベントの実施 (189) ・交通アクセスの支援 (9,196) ・誘客促進の仕掛けづくり (274) 	

戦略2. 住み続けられる地域づくり（定住の促進）

(1) 働きやすくする (P13)	4,939百万円
<ul style="list-style-type: none"> ・農産物等のブランド化、生産拡大の推進 (1,762) ・「全ての材を出して使う」林業・木材産業の推進 (1,254) ・漢方のメッカ推進 (35) ・地域の産業興し (1,723) ・企業誘致の推進 (165) 	
(2) 暮らしやすくする (P17)	2,057百万円
<ul style="list-style-type: none"> ・健康、医療、福祉、介護の充実 (1,198) ・子育て、買い物等の支援 (19) ・文化の振興 (189) ・教育の充実 (70) ・移動手段の確保 (549) ・集落の維持、活性化 (32) 	
(3) いざというときに備える (P19)	19,784百万円
<ul style="list-style-type: none"> ・紀伊半島アンカールートの整備 (4,957) ・土砂災害対策の推進と山地災害の予防と復旧 (4,743) ・防災力向上と紀伊半島大水害の次世代への継承 (44) ・紀伊半島大水害の復旧の完了 (1,714) など ・効率的、効果的な道路防災対策の推進 (6,951) 	
(4) 移り住んでもらおう (P23)	392百万円
<ul style="list-style-type: none"> ・二地域居住、移住を受け入れる仕組みづくり (262) ・二地域居住、移住を受け入れる拠点整備事業 (16) ・移住者の働く場の確保 (114) 	

頻繁に訪れてもらえる地域づくりを進め、南部地域・東部地域での**交流を促進**します

戦略目標



具体的な取組

魅力を発見する、創る

- 特色ある職と宿泊施設等の整備推進
- 美しい景観づくり
- 地域資源を活用した魅力づくり
- 多様なスポーツ施設の整備

R1 予算：288百万円
(H30予算：625百万円)



KoboTrail～弘法大師の道～

知ってもらう

- 情報発信の強化

R1 予算：520百万円
(H30予算：666百万円)



えんがわ音楽祭(天川村)

訪れてもらう、体験してもらう

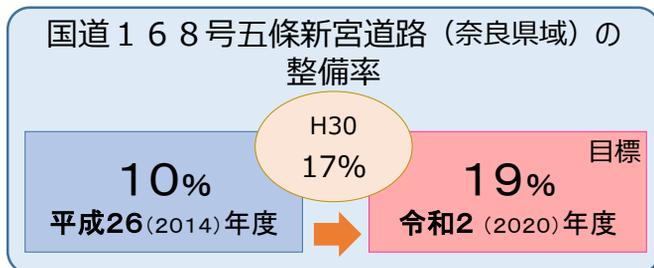
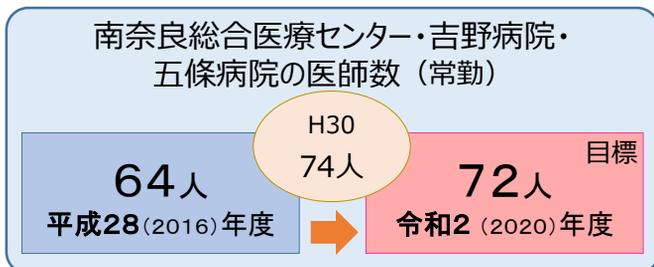
- スポーツイベントの開催
- 音楽・芸術イベントの開催
- 地域資源を活用したイベントの開催
- 交通アクセスの支援
- おもてなし力の向上
- 誘客促進の仕掛け作り

R1 予算：10,010百万円
(H30予算：13,545百万円)

※ R1予算については骨格予算で当初予算のみ計上

住み続けられる地域づくりを進め、南部地域・東部地域での**定住を促進**します

戦略目標



具体的な取組

働きやすくする

- 農産物等のブランド化・生産拡大の推進
- 「A・B・C材全てを出して使う」林業・木材産業の推進
- 漢方のメッカ推進
- 企業誘致の推進
- 地域の産業興し

R1 予算：4,939百万円
(H30予算：5,494百万円)

暮らしやすくする

- ①健康、医療、福祉、介護の充実
- ②教育の充実
- ③子育ての支援
- ④買い物等の支援
- ⑤移動手段の確保
- ⑥文化の振興
- ⑦集落の維持・活性化

R1 予算：1,883百万円
(H30予算：1,897百万円)

移り住んでもらう

- ①二地域居住・移住を受け入れる仕組みづくり
- ②二地域居住・移住を受け入れる拠点整備
- ③移住者の働く場の確保

R1 予算：222百万円
(H30予算：123百万円)

いざというときに備える

- ①紀伊半島アンカールートの整備
- ②効率的・効果的な道路防災対策の推進
- ③土砂災害対策の推進と産地災害の予防と復旧
- ④河道整備
- ⑤災害に強い森林づくり
- ⑥災害に強い情報ネットワークづくり
- ⑦地震に強い地域づくり
- ⑧エネルギーの確保
- ⑨防災力向上と紀伊半島大水害の次世代への継承
- ⑩紀伊半島大水害の復旧の完了

R1 予算：19,784百万円 (H30予算：25,357百万円)

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

（1）魅力を発見する、創る

◇取組内容

- 特色ある食と宿泊施設等の整備推進
- 美しい景観づくり
- 地域資源を活用した魅力づくり 他

【令和元年度 主な取組】

①制度融資（既存事業者による宿泊施設開業支援資金）

【R1年度融資枠 600,000千円】

宿泊施設を開始することにより事業の転換又は多角化を図ろうとする者、県内の既存宿泊施設事業者で新たに宿泊施設を開業しようとする者を対象とする資金

資金用途	設備・運転
融資期間	設備20年以内 運転10年以内
貸付限度額	280百万円
融資利率	1.975%
貸付枠	6億円

②奈良の彩りの推進【R1年度予算 16,519千円】

- ・植栽整備推進補助金
植栽計画エリア内において、植栽等による景観の向上に取り組む市町村や地元団体等に対し補助
対象：景観阻害要因の排除、玄関口や移動空間の魅力向上、眺望景観の向上等
- ・植栽協働管理推進事業
植栽計画のエリア内における植栽整備後の維持管理について、地元団体等との協働による取組を定着させるため、県整備箇所の維持管理を行う地元団体等に対し、奨励金や軍手等物品を支給
- ・「なら四季彩の庭」づくり普及推進事業
 - ・「なら四季彩の庭」シンボルマークを使用したプレートの設置
 - ・ジャーナルの発行
 - ・植栽計画の整備内容や進捗状況をデジタル化し、情報発信

③(新)第5次明日香村整備計画策定事業【R1年度予算 1,500千円】

明日香村の歴史的風土の保全と住民生活との調和を図るため、「明日香村における生活環境及び産業基盤整備等に関する計画」（明日香村整備計画（第5次））を策定する。

④「吉野・高野・熊野の国」三県共同事業【R1年度予算 5,183千円】

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を活用し、三重県・和歌山県とともに誘客のための共同事業を実施

⑤滞在型観光推進事業【R1年度予算 17,000千円】

- 滞在周遊型観光の拡大に向けた取組を展開
 - ・「祈りの回廊」パンフレット、インバウンド向けサイトページ等により南部・東部地域への誘客促進
 - ・「祈りの回廊」秘宝・秘仏特別開帳 ほか

◇ これまでの主な取組成果 ～平成30年度～ ◇

○みつえ高原牧場の活用

課題を整理、先進事例調査、連携検討会議などの開催



みつえ高原牧場

○農村資源を活用した農村地域づくり

魅力ある地域資源を活用した活動団体に対して、

- ①研修会の開催
- ②情報発信
- ③活動の支援 を実施

○オーベルジュ推進に向けた取組

オーベルジュ推進についての打合せ会を実施（大淀町、天川村）

○宿泊施設への支援

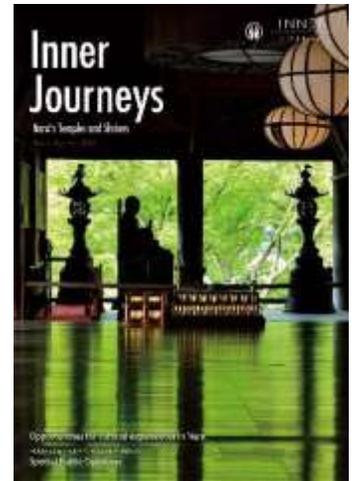
- ・県内で宿泊施設を開業しようとする事業者に対し利子補給補助
既存事業者による宿泊施設開業支援資金 4件（南部東部1件）
- ・県内の既存宿泊施設の増築・改築及び設備の設置する宿泊事業者
に対し利子補給補助
宿泊施設増改築・設備整備支援資金 2件（南部東部1件）



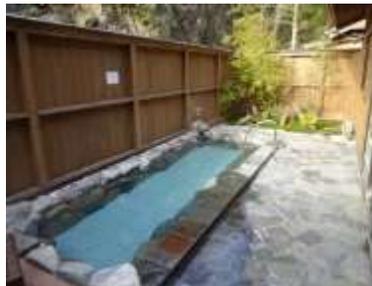
シャクヤク園 観光と生薬 @下市町
(栃原柿の里地域づくり協議会)

○明日香村の歴史的風土の創造的活用を図る事業を 支援するための交付金を活用した事業

- ・歴史的集落景観を創出するための建築物等の修景
- ・周遊バスの運行等観光基盤整備 等



祈りの回廊（インバウンド版）



既存事業者による宿泊施設開業支援資金活用事例
(所在地：十津川村)

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

（２）知ってもらう

◇取組内容

○情報発信の強化

【令和元年度 主な取組】

① 奥大和との関わりの場創出事業 【R1年度予算 18,500千円】

- ・首都圏等での奥大和地域関係者との交流イベント、雑誌社とのタイアップイベントを開催
- ・奈良まほろば館・奥大和移住定住交流センターに、奥大和に関心のある人々が集う「関係案内所」を設置

② 奥大和プロモーション事業 【R1年度予算 48,300千円】

- 様々な媒体・手法を用いた奥大和の魅力発信
- ・大手旅行雑誌やスマートフォンアプリによる情報発信
 - ・奥大和地域を舞台とする映画制作補助
 - ・JR西日本や近鉄と連携した魅力発信 等

③ ③ SNSによる「知られざる奈良の魅力」海外発信事業 【R1年度予算 11,700千円】

- SNSを通じて知られざる奈良の魅力を海外に継続的に発信し、潜在的な訪奈良需要の喚起、誘客を促進
- ・SNSを活用したインバウンド誘客プロモーションの展開

④ 奥大和豊かな暮らし提案店舗展開事業 【R1年度予算 27,800千円】

奥大和地域でつくられる家具をはじめとする木製品や食料加工品、生活用品等を一体的に展示し、販売する常設店舗の展開

- ・店舗設置に向けた構想案の策定
- ・常設店舗展開に向けたポップアップストア開催
- ・吉野杉を活用した家具づくりを行う家具職人の採用

⑤ まほろばキッチン内観光案内所運営事業 【R1年度予算 12,379千円】

J Aならけんまほろばキッチン内の観光案内所において、県中南和・東部地域を中心とした観光案内を実施

⑥ 奈良県観光キャンペーン事業 【R1年度予算 260,000千円】

社寺等と連携したイベントやプロモーションの展開、誘客促進のための旅行商品造成や商談会を実施

⑦ ⑦ 欧米豪マーケティングエージェンシー連携事業 【R1年度予算 10,000千円】

欧米豪の個人旅行客誘致促進に向け、現地メディア等に精通したエージェンシーと連携し、効果的なプロモーションを展開

- ・欧米豪主要メディアへの深度の高いセールス
- ・現地の旅行情報源を活用し、県内各地の周遊・滞在につながる「体験型の旅」を発信

◇ これまでの主な取組成果 ～平成30年度～ ◇

○大手旅行雑誌等への広報

- ・旅行雑誌「じゃらん」の全国版「大人のちょっと贅沢な旅(冬号)」への広告掲載
- ・スマートフォンアプリ「週刊じゃらん」特集ページ
- ※雑誌と連動した制作・配信



じゃらん (冬号)

○大手百貨店による連携プロモーションを実施

- ・「山と暮らす 奈良奥大和で生まれた生活道具」展開催 (7月11～17日於 阪神百貨店)



阪神百貨店との連携プロモーション

○奥大和の魅力を伝える「奥大和フェス」の開催

- 奥大和ならではの「食」や、奥大和に関係する「人」、奥大和で作られる家具等の魅力に触れられるフェスの開催 (3月16日)

○奥大和地域での起業や移住に関心を持つ関係人口を創出

- 講座やインターンシップを通じて、地域での起業プランを作成する「奥大和アカデミー」を開催。都市部の若年層と奥大和地域との関係人口を創出



奥大和アカデミー

○首都圏において旅行商品説明会・商談会を実施

○首都圏においてシンポジウムを開催

- 「興福寺から始まる、奈良、奥の奥 ～日本一の桜の名所 吉野山・金峯山寺～」(於：銀座ブロッサム) を開催 等



首都圏シンポジウム



奈良県観光キャンペーン商談会



奥大和フェス

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

（3）訪れてもらう、体験してもらう

◇取組内容

- スポーツイベントの開催
- 音楽・芸術イベントの開催
- 地域資源を活用したイベントの開催
- 交通アクセスの支援
- 誘客促進の仕掛けづくり 他

【令和元年度 主な取組】

① 奥大和の特色を活かしたイベント事業【R1年度予算 14,266千円】

奥大和地域で住民や県内外から様々な人が参画して開催される地域の特色を活かしたイベントの開催及び、イベントを実施する市町村等に対し補助

② サイクルスポーツイベント開催支援事業【R1年度予算 7,740千円】

サイクルスポーツ及び地域の振興を図るため、地勢等を活かしたスポーツイベントの開催経費の一部を負担

・ツアー・オブ・奈良・まほろば

時期 令和元年8月24日～25日

場所 宇陀市、山添村、曾爾村、御杖村、東吉野村、奈良市

・山岳グランfondin吉野

時期 令和元年7月14日

場所 五條市、宇陀市、吉野町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、上北山村、川上村、東吉野村

・ヒルクライム大台ヶ原since2001

時期 令和元年9月8日

場所 上北山村（大台ヶ原ドライブウェイ）

③ **新** 奈良スタディサイクリング開催事業【R1年度予算 1,500千円】

「県内大学生が創る奈良の未来事業」における政策提案「奈良・スタディサイクリングー 自転車をを用いた体験学習型地域振興ー」を実施。奥大和地域を自転車で巡りながら、課題や魅力を知り、過疎化が進む同地域の将来の地域活性を担う次世代の人材を育成する。

④ 直轄道路事業費負担金（南部・東部）【R1年度予算 4,261,000千円】

事業実施箇所

・京奈和自動車道、大和御所道路

・国道168号 十津川道路、長殿道路、風屋川津・宇宮原工区

・国道169号 伯母峯峠道路

⑤ 災害に強い道路ネットワークの整備推進【R1年度予算 3,726,870千円】

事業実施箇所

国道169号高取バイパス、五條吉野線、五條高取線、赤滝五條線、ほか

⑥ 「うまし奈良めぐり」推進事業【R1年度予算 29,800千円】

オフシーズンに全国からの誘客を促進するため、県内社寺や市町村等と連携して特別感ある旅行商品を造成するとともに、全国の旅行会社等での商品展開を図り、奈良の夏・冬の魅力を全国に発信

・県内社寺等における特別企画イベントの実施

・鉄道事業者やWEB等の広報媒体を活用した広域広報

・専用パンフレットの制作

◇ これまでの主な取組成果 ～平成30年度～ ◇

○アウトドアチャレンジレースの開催支援

- (5月12日～13日) 参加者：延べ353名
- ・アウトドアチャレンジレース：カヌーとハーフマラソンの両競技に参加しポイントを競うレース
 - ・川上村カヌー：タイムトライアル、カヌー体験教室等
 - ・上北山村マラソン：大台ヶ原ハーフマラソン



ツアー・オブ・奈良・まほろば

○サイクルスポーツイベント開催支援

- 「山岳グランfondin吉野」
(7月1日) 参加者：600名
- 「ツアー・オブ・奈良・まほろば」
(9月23日～24日) 参加者：425名
- 「ヒルクライム大台ヶ原since2001」
(9月9日) 参加者：703名



ヒルクライム大台ヶ原since2001

○弘法大師の道を活用したトレイルランニングレース

- 「Kobo Trail 2018」の開催 (5月19日～20日) 参加者：172名
- ・KtoK(金峯山寺～金剛峯寺) 55.7km 参加者 124名
 - ・DtoK(洞川温泉～金剛峯寺) 43.2km 参加者 48名



Kobo Trail

○地域の特色を活かした市町村等が実施するイベントを支援

- ・鬼フェス in 吉野山
- ・低山フェス in そに

○奥大和の特色を活かしたイベントを開催

- ・WSMAアーティスト・イン・レジデンス (アーティストが一定期間滞在しながら芸術作品を制作) 来場者数 2,695人
 - ・えんがわ音楽祭 in 洞川 (9月23日～24日) 来場者数 128人
- ※台風のため前夜祭のみ実施



奈良県×近鉄 旅行商品

○近鉄と連携し、奥大和地域の魅力を発信する観光

- ・近鉄と共同で1泊2日の旅を企画し、旅行商品化。



えんがわ音楽祭 (天川村洞川)



WSMA(アーティストインレジデンス)

住み続けられる地域づくり（定住の促進）

（１）働きやすくする【1/2】

◇取組内容

○農産物等のブランド化・生産拡大の推進

【令和元年度 主な取組】

①リーディング品目支援事業【R1年度予算 7,090千円】

本県農業を牽引するリーディング品目の産地生産力・品質の向上、ブランド力強化、消費拡大を推進

○柿高品質果実安定供給推進事業

・大玉・高品質果実生産に係る技術実証、特徴ある品種の導入や縮伐・せん定見本園設置に対し補助

○高級大和茶生産販売促進事業

・高品質茶生産のための被覆棚資材購入に対し補助

・輸出を視野に海外での農薬基準に合った茶生産方法の検討

②首都圏等への県産物の生産・物流・商流確保支援事業【R1年度予算 5,260千円】

首都圏での県産農産物の販売を増やすため、生産・物流・商流をマッチングさせる。

・運送業者とのマッチング商談会

・小売店・飲食店向け個別配送への支援

・バイヤー・市場関係者への売り込み

・商談会にブース出展

③農地マネジメント推進事業【R1年度予算 108,297千円】

担い手への農地の集積を推進するため（公財）なら担い手・農地サポートセンターによる農地の出し手・受け手のマッチングを実施。センターが実施する農地の賃借による担い手への農地集積。一定割合以上の農地を貸し付ける地域や貸付けにより離農・経営転換する者等に対し、協力金を交付

④多面的機能支払事業【R1年度予算 288,039千円】

農地及び農業用施設の保全管理活動や多面的機能の維持管理のための取組等を地域ぐるみで行う活動組織に対し、国の制度と連動し、交付金を交付

農業生産資源の基礎的保全活動や多面的機能の維持・発揮を支える共同活動への交付

⑤鳥獣被害防止対策事業【R1年度予算 337,559千円】

被害防止計画に基づき市町村が実施する鳥獣被害防止対策に対し補助

・被害防除の研修、捕獲活動、緩衝帯整備等

・地域が一体となった侵入防止柵等の整備

集落ぐるみの被害対策活動を推進

⑥県営農地環境整備事業【R1年度予算 83,960千円】

中山間地域の鳥獣害対策や耕作放棄地対策を行うため、計画的かつ一体的に農地環境を整備

事業実施箇所：明日香地区 ほか

◇ これまでの主な取組成果 ～平成30年度～ ◇

○チャレンジ品目、リーディング品目等への支援

- ・老木化がすすむハナモモの植え替え支援（12a）
- ・柿：生産性及び品質の向上を図る「間伐・せん定見本園」の設置（7か所・150a）
- ・アマゴ：産卵場造成、卵及び親魚の放流
- ・アユ：健全な種苗の養成及び放流



農産物・農産加工品の商談会
(東京都内)

○首都圏等への県産農産物の物流確保支援

- ・首都圏へ宅配便を利用した農産物供給の取組補助
- ・首都圏等への物流確保を目的として、出荷者と運送業者とのマッチングや意見交換会を実施（マッチング件数 4件）

○首都圏等への県産農産物等の商流確保支援

- ・東京都内の農産物及び農産加工品の商談会に県内事業者が出展可能な奈良県ブースを確保（商談成約実績 11件）
- ・県内の出荷者と首都圏の実需者との個別の商談に対し、その初回分の往復旅費を県が負担（2者が商談）



農地の貸し借り（マッチング）を実施する
農地中間管理事業制度をPR

○農地マネジメントの推進

- ・県、なら担い手・農地サポートセンター、市町村、農業委員会をメンバーとする農地マネジメントチームにより、担い手への農地のマッチング活動を実施
- ※南部・東部地域で39.2haのマッチングを実施（30年度実績）

○総合的な被害対策の支援

- ・平成29年度被害状況調査（4月～6月）
- ・若手狩猟者確保のための各種活動実施（4月～3月）
- ・国交付金、県補助金事業実施
（各市町村で有害鳥獣捕獲を実施）
- ・人材育成のための講習会開催（8月～2月）
- ・ならジビエ料理フェアの開催（夏、冬）
- ・飲食店向け「ならジビエ」調理実演会の開催（2月）



捕獲現地研修

○個体数調整

- ・森林被害緊急対策広域協議会を開催し、シカ捕獲事業実施（7月～10月）
- ・ニホンジカ個体数推定および現地調査（10月～1月）
- ・（第6次）ニホンジカ・（第4次）イノシシ第二種特定鳥獣管理計画の策定（平成29年4月～5カ年計画）



飲食店向け「ならジビエ」調理実演会
(ハグミュージアム)

住み続けられる地域づくり（定住の促進）

（1）働きやすくする【2/2】

◇取組内容

- 「全ての材を出して使う」林業・木材産業の推進
- 企業誘致の推進
- 漢方のメッカ推進
- 地域の産業興し 他

【令和元年度 主な取組】

①奈良県木材生産推進事業【R1年度予算 293,796千円】

第1種木材生産林において、長期間使用できる壊れにくい作業道の重点開設等による木材生産拡大への取組に対し補助。奈良型作業道重点開設。

- ・木材生産強化（利用間伐）
- ・林業機械導入
- ・林業機械レンタル
- ・架線集材施設設置支援

②新小規模製材ネットワーク化支援事業【R1年度予算 44,400千円】

建築業者等のニーズに対応した木材製品の安定的・効率的な供給体制の構築を支援

- ・小規模製材工場間のネットワーク化を図る取組に対し補助
- ・新たなネットワーク化の中核となる加工工場の設置に対し補助

③県産材首都圏販路拡大事業【R1年度予算 21,300千円】

首都圏の商業施設や住宅等への新たな販路の開拓

- ・販路拡大マッチングアドバイザーを活用した首都圏等の建築関係者に対するセールスの実施
- ・新首都圏における木材等に関する相談窓口の実施
- ・早稲田大学や民間企業と連携した県産材PRイベントの開催
- ・首都圏の建築関係者等を対象とした「奈良の木」見学ツアーの開催

④漢方のメッカ推進プロジェクト事業【R1年度予算 34,819千円】

- 奈良県ゆかりの薬用植物の安定供給を目指した研究の実施
 - ・ヤマトウキの地域ブランド力を高める生産技術の開発
 - ・宇陀地域に適した薬草栽培技術の開発
- 県産薬用作物の医薬品以外の部位を利用した新たな食品を開発
 - ・薬用作物の成分分析、機能性評価方法の確立、加工方法の研究
- 奈良県漢方のメッカ推進協議会の運営、講演会の開催。首都圏での大規模展示会への出展

⑤企業立地促進補助事業（南部・東部地域振興補助金）

【R1年度予算 100,000千円】

南部・東部地域に立地する企業活力集積促進補助金の対象企業に対し南部・東部地域振興補助金を加算

- ・加算額：固定資産投資額 5億円以上 1千万円
- 10億円以上 2千万円

⑥制度融資 創業支援資金（南部・東部枠）【R1年度融資枠 200,000千円】

奈良県南部地域・東部地域で創業しようとする者を対象とする資金

- | | | | |
|-------|--------|------|---------|
| 資金用途 | ：設備・運転 | 融資期間 | ：7年以内 |
| 貸付限度額 | ：15百万円 | 融資利率 | ：0.000% |
| 貸付枠 | 2億円 | | |

◇ これまでの主な取組成果 ～平成30年度～ ◇

○儲かる施業森林の掘り起こしと施業提案

- ・施業提案チームによる施業提案森林の掘り起こし、候補森林の現地調査等を実施（8箇所・6市村：奈良市・宇陀市・明日香村・高取町・東吉野村・十津川村）
- ・施業提案森林において木材生産を実施（12団地・7市村）（奈良市・宇陀市・明日香村・曽爾村・十津川村・東吉野村）
- ・リース林業教育センター短期講習へ県・市町村職員等を派遣
- ・大規模製材工場と川上（山側）との安定取引契約の実現
- ・小規模製材工場のネットワーク化との中核となる加工工場の設立の検討
- ・「産直住宅」の取り組み拡大
- ・木質バイオマス発電所への原木供給状況の把握・助言
- ・木質バイオマス加工利用施設整備支援
- ・森林認証普及推進現地見学会の開催（11月16日）



首都圏での県産材 P R
（奈良の木∞すこやかな暮らし）

○首都圏等や海外での販路開拓の推進

- ・県産材首都圏 P R イベントの開催 @東京KITTE
- ・首都圏の木材市場での県産材 P R の実施
- ・首都圏の建築・設計担当者を対象とした「奈良の木見学ツアー」の開催
- ・木材輸出に特化した海外販路開拓セミナーの開催
- ・海外訪問による現地事業者とのマッチング（インドネシア、ベトナム）



バカマツタケの林内での発生

○食用きのこの人工栽培技術の開発

- ・バカマツタケの林内での定着ときのこの発生、試験地の拡大

○奈良県産スギ材を用いた弦楽器の開発

- ・3種の弦楽器の製作と音響試験の実施
- ・弦楽器を用いた県産優良材のPR活動（展示、演奏会など）



吉野スギを用いた
チェロ・ビオラ・バイオリンの製作

○木材の利用、森林・林業の試験研究及び技術開発

- ・奈良県産スギ材・ヒノキ材を用いた防音フローリングの開発研究、従来型架線システムの作業効率の改善、ほか5課題について、調査・研究を継続的に実施

○中南和振興のための産業集積地の形成を推進

- ・用地買収に向けた調整



京奈和自動車道御所IC周辺

住み続けられる地域づくり（定住の促進）

（２）暮らしやすくする

◇取組内容

- 健康・医療・福祉・介護の充実 ○教育の充実
- 移動手段の確保 ○集落の維持・活性化 他

【令和元年度 主な取組】

①南和地域公立病院整備支援事業【R1年度予算 305,759千円】

南和広域医療企業団による南和地域公立病院整備への支援
・企業団構成市町村に対する起債償還金補助

②自治医科大学運営費負担金【R1年度予算 131,200千円】

在学生 15人 卒業生 93人（現在42期生まで）
自治医大卒業医師等の派遣：へき地診療所等派遣人員 9人

③ドクターヘリ運航推進事業【R1年度予算 259,538千円】

県独自のドクターヘリ運航に要する費用に対し補助
消防機関や国・他府県等、関係機関との調整
・実施主体：奈良県立医科大学

④へき地診療所医師確保支援事業（へき地診療所への人件費補助）

【R1年度予算 5,868千円】

補助対象：へき地診療所に勤務する医師に係る人件費（自治医大卒業医師等を除く）
実施主体：宇陀市、山添村、御杖村、十津川村、川上村
補助上限：2,400千円

⑤南部地域における産業連携教育支援事業【R1年度予算 5,600千円】

南部地域の振興に貢献できる人材を育成するため、職業教育に必要な実習備品を整備
対象：吉野高校 端面研磨機
十津川高校 レーザー加工機

⑥奈良県基幹公共交通ネットワーク確保事業【R1年度予算 197,459千円】

・利用目的に応じた交通サービスを確保するため、広域の路線バス等の運行に対し補助
・市町村連携による路線バスの広域コミュニティバス等による代替運行に対し補助
・補助対象系統を運行するノンステップバス等の導入に対し補助

⑦南部・東部地域づくり推進支援事業【R1年度予算 15,730千円】

南部・東部集落づくり支援事業（南部・東部）
南部・東部地域における定住促進、空き家の利活用等の集落づくりプロジェクトを推進するため、市町村が必要とする技術的支援を実施

◇ これまでの主な取組成果 ～平成30年度～ ◇

○介護予防・日常生活支援の充実

市町村職員の地域マネジメント力向上を支援するため、総合事業充実のノウハウを有するアドバイザーによるワークショップを開催（宇陀市、山添村、黒滝村）



市町村地域マネジメント推進研修
（橿原総合庁舎）

○東和及び南和の地域包括支援センターで構成する連絡会の運営支援

○地域ケア会議を活用して自立支援に取り組む市町村への支援

（H30宇陀市、五條市、吉野町、大淀町、天川村）

○地域の実情に応じた退院調整ルール策定のためノウハウを提供

（H30五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村）



南和退院調整ルールづくりキックオフ会議
（南奈良総合医療センター）

○ドクターヘリの運航

- ・H30ドクターヘリ出動件数
（南部地域211件、東部地域68件）
- ・奈良県・和歌山県・三重県ドクターヘリの相互応援の開始
（H31.1.1～）

○地域産業を支える人材の育成に必要な備品の整備

- ・山辺高等学校：トラクター
- ・吉野高等学校：自動一面砲盤



ドクターヘリ

○全国募集を行う県立高校の部活動の支援

- ・対象校：御所実業高等学校（ラグビー部）
榛生昇陽高等学校（自転車競技部）
十津川高等学校（ボート部）
山辺高等学校（馬術部・ライフル射撃部）



トラクター（山辺高校）



自動一面砲盤（吉野高校）



御所実業高校ラグビー部
（第73回国民体育大会ラグビーボール競技
少年男子の部（15人制）優勝）

住み続けられる地域づくり（定住の促進）

（3）いざというときに備える 【1/2】

◇取組内容

- 紀伊半島アンカールートの整備
- 効率的・効果的な道路防災対策の推進

【令和元年度 主な取組】

①五條新宮道路の整備推進（国道168号）【R1年度予算 695,806千円】

紀伊半島アンカールートを形成する「五條新宮道路」の早期整備
事業実施箇所：阪本工区、新天辻工区

②直轄道路事業費負担金（南部・東部）【R1年度予算 4,261,000千円】

再掲

事業実施箇所

- ・京奈和自動車道、大和御所道路
- ・国道168号 十津川道路、長殿道路、風屋川津・宇宮原工区
- ・国道169号 伯母峯峠道路

③災害に強い道路ネットワークの整備推進【R1年度予算 3,726,870千円】

再掲

事業実施箇所

国道169号高取バイパス、五條吉野線、五條高取線、赤滝五條線、ほか

④道路災害防除事業（南部・東部）【R1年度予算 1,188,195千円】

道路斜面で崩落等の兆候がある箇所や、法面の危険度、路線の重要度等を総合的に判断して対策を優先すべき箇所では法面・落石の防災対策を実施
国道168号外 23路線

⑤道路施設点検・診断事業(南部・東部)【R1年度予算 180,815千円】

効率的・効果的な補修・修繕を実施するため、橋梁・トンネルや道路法面の点検を実施

⑥橋りょう耐震補強事業（南部・東部）【R1年度予算 694,191千円】

耐震補強が必要な緊急輸送道路の橋梁の対策を重点実施
国道168号大川橋 外5路線31橋

⑦道路施設老朽化対策事業(南部・東部)【R1年度予算 378,200千円】

長寿命化修繕計画に基づく補修・修繕を実施

- ・出合橋 外 94橋
- ・津越野トンネル外17トンネル
- ・宮前歩道橋等の大型構造物

◇ これまでの主な取組成果 ～平成30年度～ ◇

○国道168号五條新宮道路の整備推進

【阪本工区(県)、新天辻工区(県)、長殿道路(国)※、
風屋川津・宇宮原工区(国)、十津川道路(国)】
※長殿道路(国)の工事着手(H31年2月)

○国道169号の整備推進

【御所高取バイパス(県)、高取バイパス(県)、伯母峯峠道路(国)※】
※伯母峯峠道路(国)の工事着手(H30年12月)

○災害に強い道路ネットワークの形成

地域を支える主要な道路ネットワークの形成
一般国道309号 車坂工区(吉野郡大淀町下泷)等

○道路防災対策

法面や路肩の道路防災対策の推進
国道168号(五條市大塔町小代)等

○道路施設の老朽化対策

橋梁、トンネル、大型構造物の老朽化対策の推進
橋梁：国道168号 大川橋(五條市野原西)等
トンネル：国道168号
津越野トンネル(十津川村川津)等

○市町村管理道路施設の老朽化対策

市町村が管理する道路施設の点検・
診断及び修繕工事を垂直補完・水平
補完により支援

《道路防災対策》



国道168号(五條市大塔町小代)



一般国道309号 車坂工区
(吉野郡大淀町下泷)



住み続けられる地域づくり（定住の促進）

（3）いざというときに備える 【2/2】

◇取組内容

- 土砂災害対策の推進と山地災害予防と復旧
- 河川整備
- 災害に強い森林づくり
- エネルギーの確保
- 防災力向上と紀伊半島大水害の経験・教訓の次世代への継承
- 紀伊半島大水害からの復旧の完了 他

【令和元年度 主な取組】

①直轄河川事業費負担金（南部・東部）【R1年度予算 1,116,000千円】

紀伊山系における大規模土砂災害対策等
五條市大塔町清水地区 外6箇所

②通常砂防事業（南部・東部）【R1年度予算 1,154,036千円】

砂防設備の設置により、土石流等による被害から人家等を保全
・補助事業：五條市大塔町辻堂地区 外13箇所
・単独事業：曾爾村今井地区 外3箇所

③治山事業【R1年度予算 1,104,824千円】

自然現象に起因する山地災害の復旧と未然防止のための施設整備、良質な水や安全な生活を確保するため、水源のかん養や国土保全機能が低下した保安林において森林整備等を推進
・山地治山 23箇所
・水源地域等保安林整備 3箇所

④南部東部地域河川改良事業【R1年度予算 913,944千円】

南部東部地域における治水安全度の向上を図るため、河川改良を実施
紀の川 外2河川

⑤施業放置林の整備に関する事業【R1年度予算 348,800千円】

○森林の公益的機能の増進を図るため、施業放置林について強度の間伐等を実施
・実施場所 十津川村外22市町村（事業量 885ha）

⑥スマートハウス普及促進事業【R1年度予算 27,000千円】

緊急時のエネルギー対策及び省エネルギー対策のため、住宅等へ創エネ・蓄エネ設備を設置する県民に対し補助

⑦陸上自衛隊駐屯地関連道路調査【R1年度予算 22,000千円】

陸上自衛隊駐屯地の誘致に合わせ、駐屯地へのアクセス道路の調査を実施

◇ これまでの主な取組成果 ～平成30年度～ ◇

○治山事業による復旧

- ・（平成30年度末）県実施箇所50箇所のうち46箇所完了、残り4箇所
- ・（平成30年度末）国実施箇所26箇所のうち7箇所完了、残り19箇所



民有林直轄治山事業 十津川村折立

○避難所における緊急時のエネルギー対策を支援

- ・補助金交付実績 13件（野迫川村）

○スマートハウスの普及を促進

- ・応募件数 117件
- ・普及実績 128件



復旧治山事業 川上村高原

○陸上自衛隊駐屯地の誘致

- ・国への要望活動（防衛事務次官、陸上幕僚長他）
- ・誘致関連の委託調査や県民向けイベントの実施
- ・県南部陸上自衛隊駐屯地誘致推進協議会の活動支援

○広域防災拠点の整備

- ・広域防災拠点整備等における物資拠点、ベースキャンプ場及びヘリポートの規模案を策定

○自主防災組織の活性化、防災教育・啓発の推進

- ・安全・安心まちづくりアドバイザーの派遣による支援や防災訓練支援（南部東部地域7回375人）
- ・自主防災リーダーの養成（南部東部地域：27人）



非常用LPガス発電設備



奈良県林野火災消火訓練



奈良県防災講演会



住み続けられる地域づくり（定住の促進）

（４）移り住んでもらう

◇取組内容

- 二地域居住・移住を受け入れる仕組みづくり
- 二地域居住・移住を受け入れる拠点整備
- 移住者の働く場の確保 他

【令和元年度 主な取組】

①奥大和移住定住促進事業【R1年度予算 52,537千円】

奥大和地域の移住相談体制や地域受入体制、移住者拠点施設等の整備を進めるとともに、同地域の生活環境を向上させることにより、移住・定住の促進を図る。

- ・奥大和地域19市町村と協働で設置した「奥大和移住・定住連携協議会」で統一的な移住・定住施策を実施
- ・コミュニティナースの育成講座や研修を実施し、奥大和地域内での活動をサポート

②南部・東部地域づくり推進支援事業【R1年度予算 15,730千円】

再掲

南部・東部集落づくり支援事業（南部・東部）

南部・東部地域における定住促進、空き家の利活用等の集落づくりプロジェクトを推進するため、市町村が必要とする技術的支援を実施

③奥大和雇用創造促進事業【R1年度予算 46,700千円】

奥大和地域への移住・定住を促進するため、魅力ある仕事づくりを推進

- ・「奥大和仕事づくり推進隊」を採用し、先駆的プロジェクトを推進
- ・奥大和アカデミーの開催による起業人材の育成
- ・奥大和商品の海外販売向けデザイン制作を通じた販路開拓支援を実施

④農業新規参入者支援事業【R1年度予算 7,200千円】

新規就農希望者に対し、なら食と農の魅力創造国際大学校での事前研修及び農家受入による実践研修を実施

⑤林業機械化推進事業【R1年度予算 9,460千円】

機械化による省力化や生産コストの低減を図る

- ・管理運営事業
- ・研修事業
- ・林業労働力確保推進事業

◇ これまでの主な取組成果 ～平成30年度～ ◇

○移住者の交流拠点の運営

・「奥大和移住定住交流センター～engawa～」の移住・定住相談窓口を設置し情報提供を実施



奥大和移住定住交流センター「engawa」

○移住、二地域居住及び定住に向けた活動

・地域受入協議会の設立を支援（申請4件）

○奥大和移住・定住連携協議会の運営

・路線別エリア会議を開催
 ・地域住民を対象に移住情報や地域の魅力を掲載した「Local Life journal」を12月、2月に発行
 ・移住希望者を対象に、移住者の暮らしや仕事、地域で活躍する人物を紹介する「Local Life」を3月発行



移住体験住宅のモデルプラン

○移住体験住宅のモデルプランを作成（東吉野村鷺家）

○ふるさと創生協力隊の配置

・南部・東部地域の複数の市町村にまたがる広域的な地域振興活動に従事する人材を県で直接採用、配置

○トークイベントの開催

・地方で頑張っている地域が取り組むコトをヒントに、奥大和地域を活性化させる方法を各人が考え生み出すきっかけのため「日本を元気にする方法～奈良・奥大和を活性化させるヒントを学ぶ～」を開催（2月）



地域住民向け「Local Life journal」
（全戸配布）

○協力隊への起業支援

・ふるさと復興協力隊の任期終了を迎える隊員等に対し、起業に要する経費について支援（1名）



移住希望者向けパンフレット「Local Life」



日本を元気にする方法
～奈良・奥大和を活性化させるヒントを学ぶ～

